

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽけっと			
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 1日 ~ 令和 7年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名(19世帯)	(回答者数)	20名(19世帯)
○従業員評価実施期間	令和 7年 1月 1日 ~ 令和 7年 12月 31日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童それぞれの個性を理解するとともに、保護者の方の希望を取り入れながら、それぞれの児童の特性に合わせたプログラムの提供を大切にしている	以前は常勤職員の保育士がプログラムの立案をおこなっていたが、現在は毎月プログラム会議を実施し、非常勤職員も加わって、多角的な視点でプログラム内容を立案・提供している	プログラム内容が固定化しないよう、研修会での学びを取り入れたり、保護者の方や学校との連携を更に密にし、児童に必要とされる支援内容について情報収集したことをプログラムに反映できるようにする
2	保護者の方からの相談に迅速かつ丁寧に対応することや、保護者の方との情報共有および伝達を丁寧におこなうようにしている	保護者の方からのLINE等にできるだけ早く対応するため、LINE等のチェックをこまめにするよう留意している	LINEを使うことが多いが、対面での報告や伝達等も大切であると感じるため、必要に応じて送迎時の時間を活用してその日の様子をお伝えするよう取り組んでいく
3	保護者の方同士の交流の機会を希望される方が多いこともあり、保護者の方も参加していただけるイベントを企画し実施している(きょうだい参加のイベントも実施)	毎月イベントをおこない、子供達の社会体験の機会が拡充できるよう取り組んでいるが、そこに親子参加型のイベントを実施し、保護者の方の交流の機会が提供できるようにしている	今まではイベントとして保護者の方に参加いただいていたが、事業所での普段の様子を見ていただける機会を作り、加えて保護者の方の交流の場となるよう検討したい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ、児童館、児童センター・地域の子供たちと交流する機会をもうけること	地域の公園等を利用するなかで、他の子供たちと交流する機会があったものの、意図的にそのような場を設けた支援まではできていなかった	地域の公園の利用を継続的におこなっていくとともに、児童館や児童センター等を利用できるよう調整し、交流の場を広げていけるよう検討する
2	保護者の方へ研修の機会や情報提供をおこなうこと	保護者同士の交流の場を提供する機会は作ってきたが、研修や情報提供については実施できていない 研修テーマの精査、講師の依頼調整、会場調整など、準備のための時間を確保することが難しい	保護者の方が求められる研修テーマを検証することと、職員の職務内容や業務量を照合し、どのように実施できるかを検討していきたい
3	非常災害の発生に備えて定期的に避難訓練等をおこなっているが、保護者の方に周知できていないため、実施しているか不明との意見をいただいている	火災訓練、地震訓練、洪水訓練、感染症研修、交通安全研修などを児童を対象に実施しているが、その日利用している児童の保護者にしか報告していないため、実施しているかどうか全保護者の方に伝わっていない現状がある	今後、訓練や研修の報告を保護者の方にどのようにおこなうかを検討していきたい